

音を表す部分

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

漢字の中の「音を表す部分」に気づこう

🔍 まず、たしかめよう

- 漢字の中には、**音（読み方）を表す部分**をもつものがある。
- 青（セイ）→ 清（セイ）・静（セイ）・晴（セイ）
- 官（カン）→ 管（カン）・館（カン）
- へんなどの部分が意味を、もう一つの部分が音を表すことがある。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「清」の音読みを考えよう。

① 右に「青」がある。

② 「青」はセイと読む。

③ 答え **セイ**（清流）

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

💡 音を表す部分は、いつも同じ読みになるとはかぎらない。辞典でたしかめよう。

① 同じ音を表す部分をもつ漢字を、下から一つずつ選んで書こう。

ことばのばこ 飯 管 標

(1) 官（カン）→

(2) 票（ヒョウ）→

(3) 反（ハン）→

② 「静」の音読みは？

☐ セイ

☐ カン

☐ ハン

③ 「館」と「管」で、ちがう部分は？

☐ 「官」ではない部分

☐ 「官」の部分

答え 1. (1) 管 (2) 標 (3) 飯 2. セイ 3. 「官」ではない部分（食へん・竹かんむり）

中心となる言葉をさがそう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

くり返し出てくる言葉から、文章の
中心となる言葉を見つけよう

🔍 読む文章

- ① 雨上がりの空に、虹^{にじ}が見えることがある。
- ② 虹^{にじ}は、空気中の小さな水てきに日光が当たって見える。日光は、水てきの中で曲がったりはね返ったりして、いくつもの色に分かれる。
- ③ そのため、虹^{にじ}は、太陽^せを背にしたときに、太陽と反対の方の空に見える。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい くり返し出てくる言葉は？

- ① どの段落^{だんらく}にも出てくる言葉をさがす。
- ② 「虹」「日光」「水てき」...
- ③ 中心となる言葉は虹^{にじ}

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

- ① 虹^{にじ}が見えるために必要なものを二つ^{ひつよう}えら^{えら}ぼう。
- ☐ 日光 ☐ 水てき ☐ 月の光 ☐ 雪
- ② 虹^{にじ}が見える方向は？
- ☐ 太陽と反対の方の空 ☐ 太陽と同じ方の空
- ③ この文章の中心となる言葉を使って、題名を考えよう。

答え

1. 日光・水てき 2. 太陽と反対の方の空 3. 例：虹^{にじ}が見えるわけ

つなぐ言葉② つけ加える・選ぶ

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「また」「さらに」「または」の働きを知って使おう

つなぐ言葉 (接続語)

つなぐ言葉	はたらき 働き
また・さらに・そのうえ	前のことに、つけ加える
または・それとも	どちらかをえら

いっしょにやってみよう

れい 「このパンは安い。()、とてもおいしい。」

① 安い + おいしい。

② よい
ことをつけ加えている。

③ 答え さらに
(そのうえ)

やってみよう

できたところまでで OK

① () に合う言葉を選ぼう。

ア または イ また

(1) えんぴつ、() ボールペンで書いてください。

(2) この町は海が近い。()、山も近い。

② 「それとも」が合う文は？

☐ お茶にする？ それとも、水にする？

☐ 雨がふった。それとも、かさをさした。

③ 「さらに」を使って、文を続けよう。

この本は、絵がきれいだ。さらに、.....

答え 1. (1) ア (2) イ 2. お茶にする？ それとも、水にする？ 3. 例：さらに、話もおもしろい。

漢字（動き②）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

動きを表す漢字「^あ挙・^{もと}求・^か借・^{くわ}加」を読んで書こう

きょうの漢字

音 キョ
訓 あ(げる)
選挙・手を挙げる

音 キュウ
訓 もと(める)
求人・求める

音 シャク
訓 か(りる)
借りる・借用
左は にんべん

音 カ
訓 くわ(える)・
くわ(わる)
参加・加える

いっしょにやってみよう

れい 「かりる」を漢字で書くと？

- ① にんべんに「昔」。 ② 送りがなは「りる」。 ③ 答え 借りる

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) しつもんがある人は、手を挙げる。

(2) 助けを求める。

(3) 図書館で本を借りる。

(4) チームに加わる。

② □に漢字を書こう。

(1) 例を ^あ□ げる。

(2) 水を ^{もと}□ める。

(3) かさを ^か□ りる。

(4) 塩を ^{くわ}□ える。

③ 「借りる」の反対の意味の言葉は？

☐ かす

☐ 買う

答え 1. (1) あ (2) もと (3) か (4) くわ 2. (1) 挙 (2) 求 (3) 借 (4) 加 3. かす

目次とさくいんを使い分けよう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

知りたいことに合わせて、目次とさくいんを使い分けよう

🔍 かくう
架空の本のページ

目次 (『身近な生き物図かん』)

- 1 野原の生き物 4
2 水べの生き物 20
3 林の生き物 36

さくいん (一部)

- カタツムリ 10
カブトムシ 38
カワセミ 24

🗨️ いっしょにやってみよう

れい カワセミのことを調べたい。どこを見る？

① 調べたい言葉が
決まっている。

② さくいんで
「カワセミ」
をさがす。

③ 答え 24ページ

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 水べの生き物を まとめて見たい。何ページから？

☐ 4 ☐ 20 ☐ 36

② カタツムリは、何ページ？

☐ 10 ☐ 24 ☐ 38

③ 目次とさくいんのちがいを、一文で書こう。

答え

1. 20

2. 10

3. 例：目次は本の内容の順にならび、さくいんは言葉が五十音順にならんでいる。